

八乙女のクリサンセマム

for
adult
only
18

STEINS: GATE





はい
凶真さん

恐れるな
ルカ子

例えその手に
五月雨がなくとも
清心斬魔流の精神は
しかとその胸に
刻まれている

うおおお
巫女衣装の
なんとさう
愛らしさよ！

この極限まで
エロスを封印
された衣装は
逆にとその
なんとさうか！



るかー
どこいった？



よよしルカ子よ
今日もまた
こ 恋人の契りを...

はい...



感謝して
いますよ
鳳凰院くん



ボク
行きます！

使命を果たせ
我が
愛弟子よ！

チュウチュ
したかった...





清楚！可憐！
清廉！潔白！
その全てが
エロさを
引き立てる！



古来巫女さんは
娼婦を兼ねていて

神託を望む者は
巫女さんとエロい
ことをして神様と
交信していたのだぜ

つまり巫女さんを
エロい目で見る
のは至極全うな…

屁理屈を
言うな！



ええいダル！
神聖な巫女を
いやらしい
目で見るな！

それは無理
というものだお
オカリン！



そのエロゲ
ヒロイン全員巫女なんだが
隠しキャラであり
真のヒロインが
なんと男の娘！

！！



どうせそれも
エロゲから得た
知識だろう

さすがオカリン
話が早くて
助かる

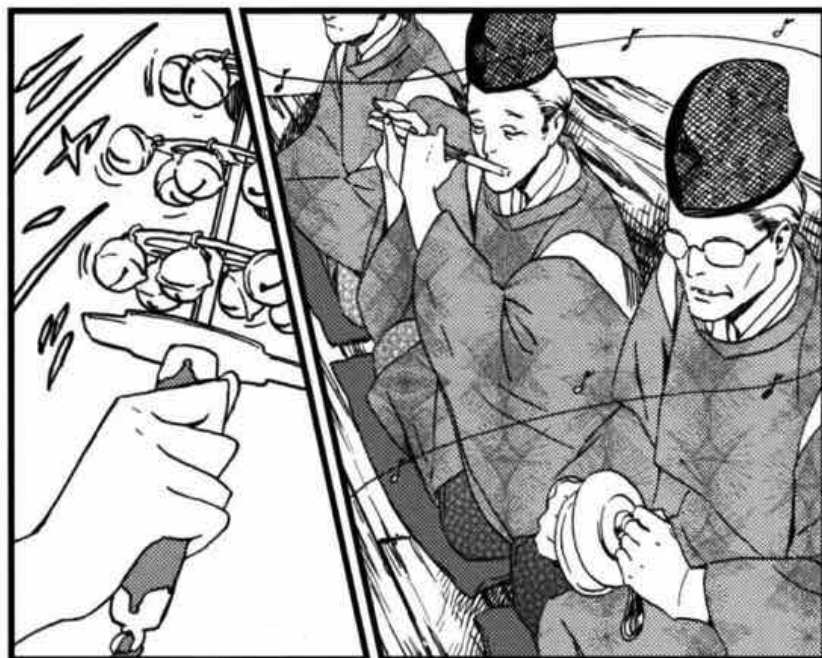


舞台の上で

一枚一枚脱いで巫女舞を舞う姿を
村人達に視姦された巫女は

熱く火照った身体を鎮める間もなく
巫女神堂へと連れて行かれ
そのまま一夜妻の儀式を

一夜妻の
儀式だ!?
それは!?







クッ…
ダルのせい
で俺まで
変な
妄想を…



だがルカ子のやつ妙に扇情的で
いつにも増して匂い立りような
色気があるな…

なんとというかダルの言う事
も一理あるような…



うるさい
岡部!

俺だ
たった今《機関》から
強力な精神攻撃を
受けた…!!



いいかん
煩悩退散!
煩悩退散!
!!



しかと見せて
もらったぞ
ルカ子よ

途中エロい
妄想をした
などは
言えん…

素晴らしい
舞だった

だが俺は
煩惱に
打ち勝つた
のだ…!

…ルカ子?



ゴメン
なさい…

その…ボク…

な!?!
エロいか!?!



岡部さん…

どうした
ルカ子!?



た体調が
悪いのか?
はつきり言わねば
わからんぞ?

…はい

舞台の上で一枚一
舞脱は巫女舞を
視舞は巫女舞を
鎮神堂
一行か
夜妻の義式を...

先日橋田さんに
巫女舞を舞うなら
やっておくべきだと
あるゲームを貸して
いただいたんですが

それがとても...
その...えっちで...

もじ
もじ
もじ

ダ
ル
ー
!!

それでボク...
変に意識しちゃって
なんか変...なんです...

おお
おお
おお
おお

は
は



ア
ア



あ
あ
あ
あ
あ
あ





ですが主人公は
巫女に辛く
当たりました

キョ
キョ

はあ

はあ

ひゃ



月明かりに
照らされて
主人公は
気がきました



その巫女はなんと
長年探し求めて
いた初恋の少女
だったので…



何故なら
その少女は実は
男の子だった
からです…

は

ちゅん

ちゅん

ちゅん
ちゅん
ちゅん



愛した少女は
いなかった…

長年の想いは
強い愛憎へと
変わり

んんーッ!!

んッ



よくも……

んん……ッ

よくも……!



よくも騙したな!

ハテ

ハテ



巫女ってのは
とんでもない
変態なんだない

んふ

う……



んむ

なんだ?
人のを啜えて
興奮して
いるのか?

もじ
もじ

ほら
しつかり
啜えろ!



うぶ

んむッ

んぐ

んぐ

す

おどろ

おどろ

おどろ

おどろ

おどろ

おどろ

おどろ

おどろ



んんッ

そうだ
口の方も
サボるなよ

むぐう

お前のもぞ
してやるぞ

ちゅこ
ちゅこ
ちゅこ



はあッ



んんッ



クツ
出る...

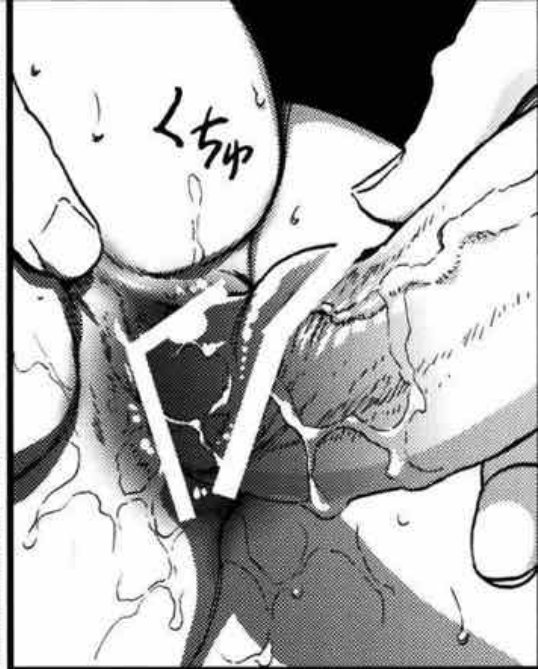


んんッ

んんッ

んんッ
んんッ







はあ

はあ

あッ

主人公は…
怒りのままに
ただ欲望を
ぶつけます…

うるさいぞ…

ハテ

ハテ



はあ

それで…もッ

はあ

それでも…
巫女には…くッ
嬉しい…事でした

あッ

あッく

はげし…ッ



それは…
強い想い…の
裏返しであり

はあ

はあ

少女として…
過ごした幼い頃の
み巫女を…
彼は確かに愛して
いたのだと…

はあ

あッ



そして…
近く…て遠く
感じていた人が
今は自分に気持ち
を向けている…

それが例え…
負の感情であろうと
この上…ない喜び
だったのです…

あッ

あッ



出すぞ…ツ!!





はあ

はあ

はあ



あッ

そこ...

あッ

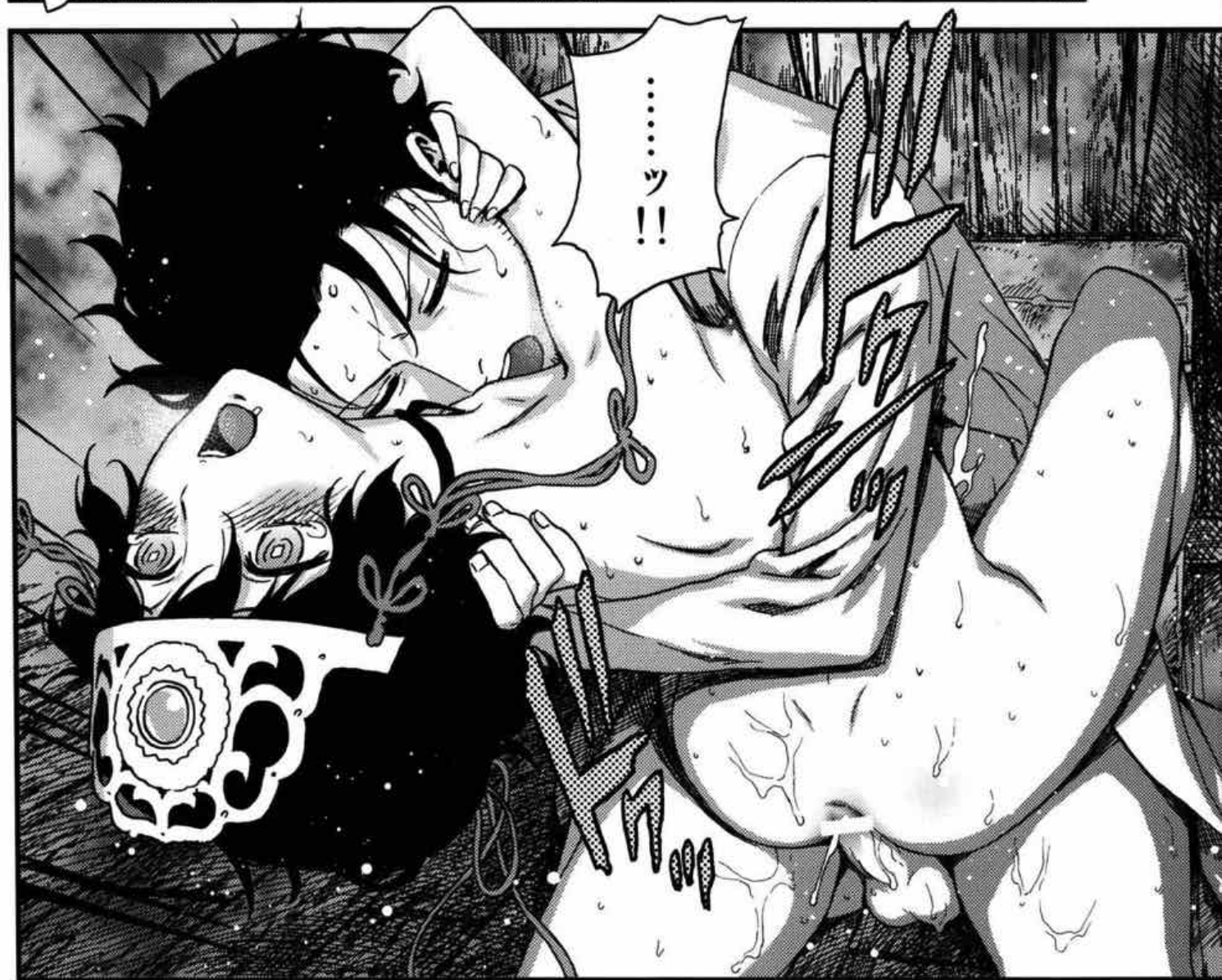
あッ



はあ

はあ







あのお話
主人公と巫女は
儀式の後に結局…

村人達によって
離れ離れに
されてしまっ
たんですよ…



岡部さん
実はプレイされて
いたんですか？
あのゲーム…

あいや
ダルが
あまりにも
薦めるから
そのな？

帰ったら
ダルに
借りよう…

はげしさと小
えんちさじが
そのままでした…



ボクも
岡部さんのこと
何があっても

ずっと
お慕いしています



けれど
きつともう
二人の心が離れる
事はない…

そう感じさせる
最後の余韻は
とても感動的
でした



おーい
るか？

大事に
しよ



END



いくじなしの
フェティシスト

オカルカネタを考えているといつも行き着くのは「この二人はこの先どうなってしまうのだろうか？」ってこと。

異性愛者すら狂わせてしまうのがルカ子の魔性。とは言えやはりオカリンはどこまでいっても異性愛者。いずれ二人の関係はどこかで破綻してしまうのかも知れない。最後はきっとルカ子自らがオカリンを思って身を引くような…そんな流れで静かに終わる。そこまで想像して一人溜息をつく。うーんオカルカは悲恋がよく似合う。

そして疎遠になった二人が数年後再開なんかしたらとても切ない。付き合いっていた頃は確かに少女のようだったのに今はもう何故付き合いっていたのかわからないくらいに体つきも男性的で…。そう考えると男の娘って思春期少女よりも更に寿命が短くてその儂さがとても愛おしいと思う。ルカ子のそういうところに自分は魅力を感じているんだろうな。



八乙女のクリサンセマム

発行元	いくじなしのフェティシスト
発行人	いくじなしのフェティシスト
発行日	2013年11月03日
印刷所	金沢印刷様
連絡先	fetishist13@gmail.com
pixivID	3527226

